



子どもの安全を守る対策と生活環境整備について

池森 のり子議員



質問 管理不全の空家等の把握状況と周辺環境への影響について伺います。

答弁 空家等実態調査では、市内の総住宅戸数3万3708戸のうち1733戸が空家であり、その空家のうち約4%が、管理不全空家または特定空家等になり得る可能性があります。

管理不全状態にある空家は、安全上の危険や住環境を損なうなど、地域住民の生活環境に大きく影響すると認識しています。

意見 管理不全の建物が子どもたちの生活動線にある場合、安全上の懸念が生じます。関係機関や地域との連携を大切にしながら実



大島工業団地周辺の道路整備、地区役員・団体のあり方、持続可能なまちづくりの総括について

飯島 一志議員



質問 大島工業団地周辺の道路整備について、東北自動車道脇の側道へ入る際の右折レーンを整備する考えを伺います。

答弁 道路幅員に制限があるため、右折レーンの設置が構造上困難な状況です。そのため、インターチェンジ方面に向かう車両に対し

ては、団地西側に整備する南北道路を南に向かい、側道へ案内する方法を検討していきます。

要望 地域の皆さんから苦情が出る前に、時差式信号の設置は、すぐに対応していただきたいと思えます。

質問 ライトコミュニティーの受け止めについて伺い

効性ある取組が進められることを期待しています。

質問 通学路の安全確保には、環境面と人的取組の両面が必要です。地域の防犯活動である、青色パトロー

答弁 青色防犯パトロールは、地域巡回により犯罪の抑止を図るほか、子どもの見守りをはじめとする、地域の方々が主体となった活動を通じ、地域全体の防犯力の底上げや防犯意識の向上、安全な地域づくりを推

進することを目的としています。

質問 地域の目で、子どもたちを守るために重要な「子ども安全協力の家」の取組状況を伺います。

答弁 「緑色ののぼり旗」を軒先に掲げていただき、下校時、子どもたちが困った時に駆け込める安全・安心な場所を提供しています。

質問 子どもの安全を守るには、将来を見据えた生活環境整備が重要です。市政運営にどのように位置づけ

して、大変有意義なものと考えています。

質問 総合計画の策定にあたり、委員の皆様からの評価について伺います。

答弁 計画内容について前向きな評価をいただきました。また、委員の意見が十分に反映された計画になった、との評価をいただきました。

質問 令和8年度の組織機構改革の特徴を伺います。

答弁 1つ目は、財産有効活用課の新設です。2つ目

ていくのか市長の考えを伺います。

答弁 子どもたちが笑顔で暮らせる館林を、市民、そして幅広い関係者の皆様とともに築いていきたいと考えています。

意見 子どもたちが安心して暮らせるまちづくりは大人の責任であり、本市の価値向上にもつながります。市長のリーダーシップの下、笑顔あふれるまちづくりの更なる前進を期待します。

は、地域魅力創造課の新設。3つ目は、学校適正配置推進室の新設です。

質問 持続可能なまちづくりの実現に向け、今後の展開を伺います。

答弁 移住定住施策を戦略的に進めるための計画策定のほか、都内などの移住定住イベントへの積極的な参画、ショートドラマなどを活用した魅力発信に取り組み、本市PRの強化と関係人口・移住定住人口の増加につなげたいと考えます。

